

インターハイを制す
自転車男子個人ロードレース

この夏、福井県大野市で開催された全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の自転車男子個人ロードレースで、林原聖真さん（倉吉東高三年）が優勝しました。

ゴールラインを切った時の気持ちを聞くと、「信じられなかったが、素直にうれしかった」と一言。

林原さんは、小学生の時に始めたトライアスロンがきっかけで、自転車競技に興味を持ちました。倉吉東高校入学後は、放課後、自転車部のある倉吉総合産業高校で練習をし、休日は、倉吉自転車競技場で団体選手等と共に練習を重ねました。広域農道でもよく大山方面に向かってロード練習をしていたそうです。

今後は、大学に進学して自転車競技を続け全日本学生選手権（インカレ）で成績を残したいと抱負を話されました。



▲優勝した林原聖真さん

大山公民館大山分館
新同好会を紹介します
『里山商品開発部』

里山の自然にあるものや、育てた野菜で、製品をつくり、商品開発をします。里山に暮らす仲間と繋がり、集うことで、日々の生活を楽しく豊かなものにしましょう。干し芋作りや、メンバーが育てた麦から全粒粉を作り、それでクッキーを焼いたりしています！

◆活動日 不定期

◆活動場所 大山農村環境改善センター

◆会費 実費

◆代表 田口智子さん



▲地元のお米で麴作り

興味のある方は大山公民館大山分館（☎0859-5318139）にご連絡ください。

なわステ Saku プロジェクト（名和公民館）
高校生の拠点づくり
空き家をプランニング×居場所をリノベーション

高校生の拠点づくりとして、なわステ Saku プロジェクトをスタートしました。「なわステ」とは「名和駅」を意味し、「Saku」は名和の「桜」と、ものづくりの「作る」から付けました。活動内容は、現在無人化となっている名和駅を、高校生が自分たちの居場所となるような場にするため、みんなで考え、リノベーションし、活用することを目的として始めました。

から心が弾みます。

今回は、名和駅で実際に現場を見ながら「駅にどんな場があるといいのか」や「どんな場にしたいか」などを話し合います。

興味や関心のある高校生は、いつでも参加可能です。名和公民館にお問い合わせください。

初回は8月27日、集まった6人がオリエンテーションをおして、参加した気持ちを伝え合いました。「いつも利用する名和駅がきれいになると嬉しいから」とか「自分たちの居場所づくりにワクワクしている」「自分の意見が大山町を良くするために使われたらいいなあ」「名和駅でおいしい物が食べられるようになると嬉しい」など意見は様々。これからどんな駅に変身していくのかを楽しんでいるようでした。回を重ねることで生まれてくるであろう高校生の柔軟な発想に、今



▲自分の考えを言葉に表すことからスタート



▲オリエンテーションの様子